



# 平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 中外鉱業株式会社

上場取引所 東

コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芳賀 一利

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長 (氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	10,095	△29.3	△62	—	△79	—	△79	—
30年3月期第1四半期	14,283	33.7	560	225.6	544	248.7	504	514.6

(注)包括利益 31年3月期第1四半期 △82百万円 (—%) 30年3月期第1四半期 521百万円 (240.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	△0.27	—
30年3月期第1四半期	1.74	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	7,462	6,496	86.9	22.40
30年3月期	7,320	6,305	89.7	22.67

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 6,486百万円 30年3月期 6,566百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,800	△30.6	90	—	50	—	△20	—	△0.07
通期	35,700	△31.5	250	—	180	—	10	—	0.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	289,747,982 株	30年3月期	289,747,982 株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	97,901 株	30年3月期	97,762 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	289,650,088 株	30年3月期1Q	289,651,611 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や堅調な企業業績に支えられ、景気は回復基調が続いているものの、米国の保護主義的な通商政策による貿易摩擦、世界経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金価格は、地政学的リスクや米国利上げの動向、米中貿易摩擦懸念等の影響により総じて軟調に推移いたしました。不動産市況においては、住宅ローン減税等の経済政策や低金利の継続により住宅需要は堅調であり、不動産賃貸業界においては、都心部の優良オフィスを中心に空室率は低水準で推移し、成約賃料においては上昇傾向にある等、堅調に推移いたしました。機械市況において、外需は自動車や一般機械を中心に受注は堅調に推移し、内需においても自動車や半導体製造装置、一般機械向けの受注が好調に推移したことから、中古工作機械業界においても堅調に推移いたしました。コンテンツ事業においては、全国の小売店やネット通販・自社運営ECサイトにて自社商品を販売の他、各種物販イベントに多数出展しております。また、アニメ製作委員会や番組スポンサーへ積極的に参加し、市場のニーズに合った商品の企画・製作・販売を展開しており、売上高は堅調に推移したものの、製作委員会に係る償却額等を計上したことが影響し業績は低調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,095,811千円(前年同四半期14,283,082千円)、営業損益は62,975千円の損失(前年同四半期560,305千円の利益)、経常損益は79,425千円の損失(前年同四半期544,603千円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損益は79,340千円の損失(前年同四半期504,917千円の利益)となりました。

貴金属事業におきましては、売上高は9,601,203千円(前年同四半期12,686,145千円)、営業損益は26,840千円の利益(前年同四半期25,803千円の利益)となりました。

不動産事業におきましては、売上高は57,837千円(前年同四半期1,179,559千円)、営業損益は2,143千円の利益(前年同四半期629,333千円の利益)となりました。

機械事業におきましては、売上高は313,786千円(前年同四半期304,157千円)、営業損益は19,848千円の利益(前年同四半期25,993千円の損失)となりました。

投資事業におきましては、営業損益は10,508千円の損失(前年同四半期27,946千円の利益)となりました。

コンテンツ事業におきましては、売上高は130,211千円(前年同四半期79,755千円)、営業損益は4,687千円の損失(前年同四半期5,466千円の利益)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より141,856千円増加し、当第1四半期末は、7,462,704千円となりました。

## (流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は、前連結会計年度末より140,528千円増加し、4,809,452千円となりました。

増加の主なものは、商品及び製品の増加(845,079千円から1,057,558千円へ212,479千円の増加)であります。

減少の主なものは、仕掛品の減少(255,760千円から148,756千円へ107,003千円の減少)であります。

## (固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は、前連結会計年度末より1,327千円増加し、2,653,251千円となりました。

## (流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は、前連結会計年度末より14,306千円減少し、645,806千円となりました。

## (固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は、前連結会計年度末より35,283千円減少し、320,179千円となりました。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末より191,446千円増加し、6,496,718千円となりました。

増加の主なものは、非支配株主持分の増加(△260,752千円から9,955千円へ270,708千円の増加)であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,589,909	1,509,782
売掛金	84,189	139,806
商品及び製品	845,079	1,057,558
仕掛品	255,760	148,756
原材料及び貯蔵品	16,227	16,475
販売用不動産	605,118	581,872
預け金	1,209,799	1,304,381
その他	75,841	63,820
貸倒引当金	△13,000	△13,000
流動資産合計	4,668,924	4,809,452
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,276,321	1,277,121
減価償却累計額	△657,822	△671,573
建物及び構築物 (純額)	618,499	605,548
機械装置及び運搬具	527,761	527,761
減価償却累計額	△444,706	△448,103
機械装置及び運搬具 (純額)	83,054	79,658
土地	1,691,391	1,691,391
その他	113,363	113,575
減価償却累計額	△103,462	△103,635
その他 (純額)	9,900	9,940
有形固定資産合計	2,402,846	2,386,537
無形固定資産		
コンテンツ資産	6,886	12,949
その他	6,359	5,936
無形固定資産合計	13,246	18,886
投資その他の資産		
投資有価証券	101,946	101,946
出資金	9,205	10,205
長期未収入金	487,019	487,019
敷金及び保証金	115,450	115,269
その他	9,228	20,406
貸倒引当金	△487,019	△487,019
投資その他の資産合計	235,831	247,827
固定資産合計	2,651,923	2,653,251
資産合計	7,320,848	7,462,704

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	19,825	40,826
短期借入金	300,000	300,000
関係会社短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	151,320	151,320
未払金	32,347	20,267
未払法人税等	41,892	11,620
デリバティブ債務	25,900	—
その他	38,827	71,770
流動負債合計	660,112	645,806
固定負債		
長期借入金	115,620	80,700
長期末払金	5,379	3,912
金属鋁業等鋁害防止引当金	3,953	3,953
預り敷金保証金	16,902	17,380
繰延税金負債	15,244	14,746
資産除去債務	198,363	199,487
固定負債合計	355,462	320,179
負債合計	1,015,575	965,985
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,248,926	6,248,926
利益剰余金	348,471	269,130
自己株式	△31,227	△31,231
株主資本合計	6,566,170	6,486,825
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△146	△63
その他の包括利益累計額合計	△146	△63
非支配株主持分	△260,752	9,955
純資産合計	6,305,272	6,496,718
負債純資産合計	7,320,848	7,462,704

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	14,283,082	10,095,811
売上原価	13,378,678	9,814,531
売上総利益	904,403	281,279
販売費及び一般管理費	344,098	344,255
営業利益又は営業損失(△)	560,305	△62,975
営業外収益		
受取利息	4	6
国庫補助金収入	9,194	8,916
保険金収入	737	19
その他	1,293	235
営業外収益合計	11,229	9,177
営業外費用		
支払利息	1,929	1,647
休山管理費	23,452	22,478
その他	1,549	1,500
営業外費用合計	26,932	25,626
経常利益又は経常損失(△)	544,603	△79,425
特別利益		
固定資産売却益	392	—
特別利益合計	392	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	544,995	△79,425
法人税、住民税及び事業税	24,091	3,607
法人税等調整額	△1,084	△498
法人税等合計	23,007	3,108
四半期純利益又は四半期純損失(△)	521,987	△82,533
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	17,069	△3,193
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	504,917	△79,340

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	521,987	△82,533
その他の包括利益		
為替換算調整勘定(税引前)	—	82
その他の包括利益合計	—	82
四半期包括利益	521,987	△82,450
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	504,917	△79,257
非支配株主に係る四半期包括利益	17,069	△3,193



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業	コンテンツ 事業		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	12,686,145	1,175,552	304,157	34,850	79,755	2,621	14,283,082
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	4,007	—	—	—	—	4,007
計	12,686,145	1,179,559	304,157	34,850	79,755	2,621	14,287,089
セグメント利益又は セグメント損失(△)	25,803	629,333	△25,993	27,946	5,466	1,193	663,750

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	14,283,082
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△4,007	—
計	△4,007	14,283,082
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△103,444	560,305

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△103,444千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△103,444千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第1四半期連結会計期間から、従来の報告セグメントである「貴金属事業」と「宝飾事業」の区分を統合して、「貴金属事業」セグメントに区分しております。これは、営業強化を図るため事業部の再編を行い貴金属部と宝飾部を統合したことによるものです。

また、「その他」に含まれていた「コンテンツ事業」について、事業規模が拡大し、経営における重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業	コンテンツ 事業		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	9,601,203	53,844	313,786	△6,061	130,211	2,826	10,095,811
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	3,993	—	—	—	—	3,993
計	9,601,203	57,837	313,786	△6,061	130,211	2,826	10,099,805
セグメント利益又は セグメント損失(△)	26,840	2,143	19,848	△10,508	△4,687	1,567	35,203

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	10,095,811
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△3,993	—
計	△3,993	10,095,811
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△98,179	△62,975

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電収入、不動産賃貸収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△98,179千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△98,179千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項  
該当事項はありません。